

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

第28回理事会

次第

1 議決事項

- 第1号議案 会長、副会長及び事務次長の選定・・・P4
- 第2号議案 会計監査人の報酬の額・・・P5
- 第3号議案 2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針の変更・P6
 - 資料1 2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針・・・P7
 - 資料2 2027年国際園芸博覧会寄附金募集計画・・・P8

2 報告事項

- 第1号報告 GREEN×EXPO 2027の進捗状況・・・P9
 - 資料3 GREEN×EXPO 2027の進捗状況・・・別紙
- 第2号報告 2025年度の理事会総会等の予定・・・P10
 - 資料4 2025年度 理事会総会等予定一覧・・・P11

3 その他

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

第28回理事会 役員出席者名簿

(第28回理事会時点。協会役職順・氏名 五十音順。敬称略)

協会役職	氏名	所属 ・ 役職	ご出欠
会長・代表理事	筒井 義信	一般社団法人 日本経済団体連合会 会長	出席
事務総長・代表理事	河村 正人	事務総長	出席
副会長・理事	上野 孝	一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会 会頭	出席
		横浜商工会議所 会頭	
副会長・理事	黒岩 祐治	神奈川県知事	出席
副会長・理事	小林 健	日本商工会議所 会頭	欠席
副会長・理事	滝澤 秀之	一般社団法人 神奈川経済同友会 代表幹事	出席
副会長・理事	新浪 剛史	公益社団法人 経済同友会 代表幹事	欠席
副会長・理事	野並 直文	一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長	出席
副会長・理事	山中 竹春	横浜市長	出席 (WEB)
副会長・理事	和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 会長	出席 (WEB)
理事	草野 満代	フリーアナウンサー	出席 (WEB)
理事	小室 淑恵	株式会社 ワーク・ライフバランス 代表取締役社長	出席
理事	滝 久雄	株式会社ぐるなび・株式会社 NKB 両社、取締役会長 公益財団法人日本交通文化協会 理事長	出席
理事	田代 桂子	公益社団法人 経済同友会 副代表幹事 大和証券グループ本社 取締役 兼 執行役副社長	出席
理事	田中 里沙	学校法人 先端教育機構 事業構想大学院大学 学長	出席
理事	ナリン アドバニ	entomo pte. ltd. Co-Founder BIPROGY 株式会社 社外取締役	出席
理事	南場 智子	株式会社 ディー・エヌ・エー 代表取締役会長	出席
理事	宮永 俊一	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会財務委員会委員長	出席
理事	望月 澄枝	横浜商工会議所 女性会 会長	欠席
理事	横田 響子	株式会社 コラボラボ 代表取締役	出席 (WEB)
理事	吉高 まり	一般社団法人 パーチュデザイン 代表理事 東京大学教養学部 客員教授	出席
事務次長・ 業務執行理事	佐藤 速水	事務次長	出席
事務次長・ 業務執行理事	小池 政則	事務次長	出席
事務次長・ 業務執行理事	栗本 尚幸	事務次長	出席
事務次長・ 業務執行理事	八山 幸司	事務次長	出席
監事	太田 眞晴	前日本公認会計士協会 神奈川県会 会長	出席
監事	二川 裕之	元神奈川県弁護士会 会長	出席

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会
第28回理事会
議案書

議決事項 第1号議案

会長、副会長及び事務次長の選定

第12回社員総会で選任及び再任された理事について、定款第20条第2項・第3項及び第21条第3項並びに第30条第3号の規定により、会長、副会長及び事務次長について、次のとおり選定することを提案します。

会長（代表理事）

筒井 義信 一般社団法人 日本経済団体連合会 会長

副会長（氏名 五十音順）

上野 孝 一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会 会頭
横浜商工会議所 会頭

黒岩 祐治 神奈川県知事

小林 健 日本商工会議所 会頭

滝澤 秀之 一般社団法人 神奈川経済同友会 代表幹事

新浪 剛史 公益社団法人 経済同友会 代表幹事

野並 直文 一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長

山中 竹春 横浜市長

和田 新也 一般社団法人 日本造園建設業協会 会長

事務次長（業務執行理事）

小池 政則

【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第20条2 理事のうち1名を会長とし、会長以外の理事の中から事務総長を1名、副会長及び事務次長を複数名置くことができる。

3 前項の会長及び事務総長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「一般法人法」という。）上の代表理事とする。また、事務次長をもって一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

第21条 理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。

3 会長、副会長、事務総長及び事務次長は、理事会の決議によって選定する。

第30条 理事会は、次の職務を行う。

(3) 会長、副会長、事務総長及び事務次長の選定及び解職

議決事項 第2号議案

会計監査人の報酬の額

定款第27条第4項により、会計監査人の報酬の額について、次のとおり提案します。

なお、本議案については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第110条により、監事からの同意を得ています。

- 1 会計監査人 監査法人薄衣佐吉事務所
報酬の額 年間総額 2,750,000円（税込）

【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第27条 理事及び監事に対して、社員総会において別に定める総額の範囲内で、社員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

4 会計監査人に対する報酬等は、監事の過半数の同意を得て理事会において定める。

○一般社団法人及び一般財団法人に関する法律

第百十条 理事は、会計監査人又は一時会計監査人の職務を行うべき者の報酬等を定める場合には、監事（監事が二人以上ある場合にあっては、その過半数）の同意を得なければならない。

報告事項 第1号報告

GREEN×EXPO 2027の進捗状況

GREEN×EXPO 2027の進捗状況について、資料3のとおり報告します。

- ・資料3 GREEN×EXPO 2027の進捗状況

GREEN × EXPO 2027の進捗状況



目次

- 1 会場・出展等
 - (1) 会場
 - (2) 協会工事の全体スケジュール
 - (3) 出展・出店
 - (4) 行催事・儀典
 - (5) 運営
 - (6) 協賛
 - (7) 植物調達
 - (8) 輸送対策
 - (9) アクセシビリティ・ガイドライン
 - (10) サステナビリティ
- 2 広報・機運醸成
 - (1) Blooming Ring Action
 - (2) 機運醸成活動
 - (3) 組織名CI活用
 - (4) 機運醸成の取組（横浜市、神奈川県、国）
- 3 組織・スケジュール
 - (1) 協会組織
 - (2) 財務委員会
 - (3) 全体スケジュール



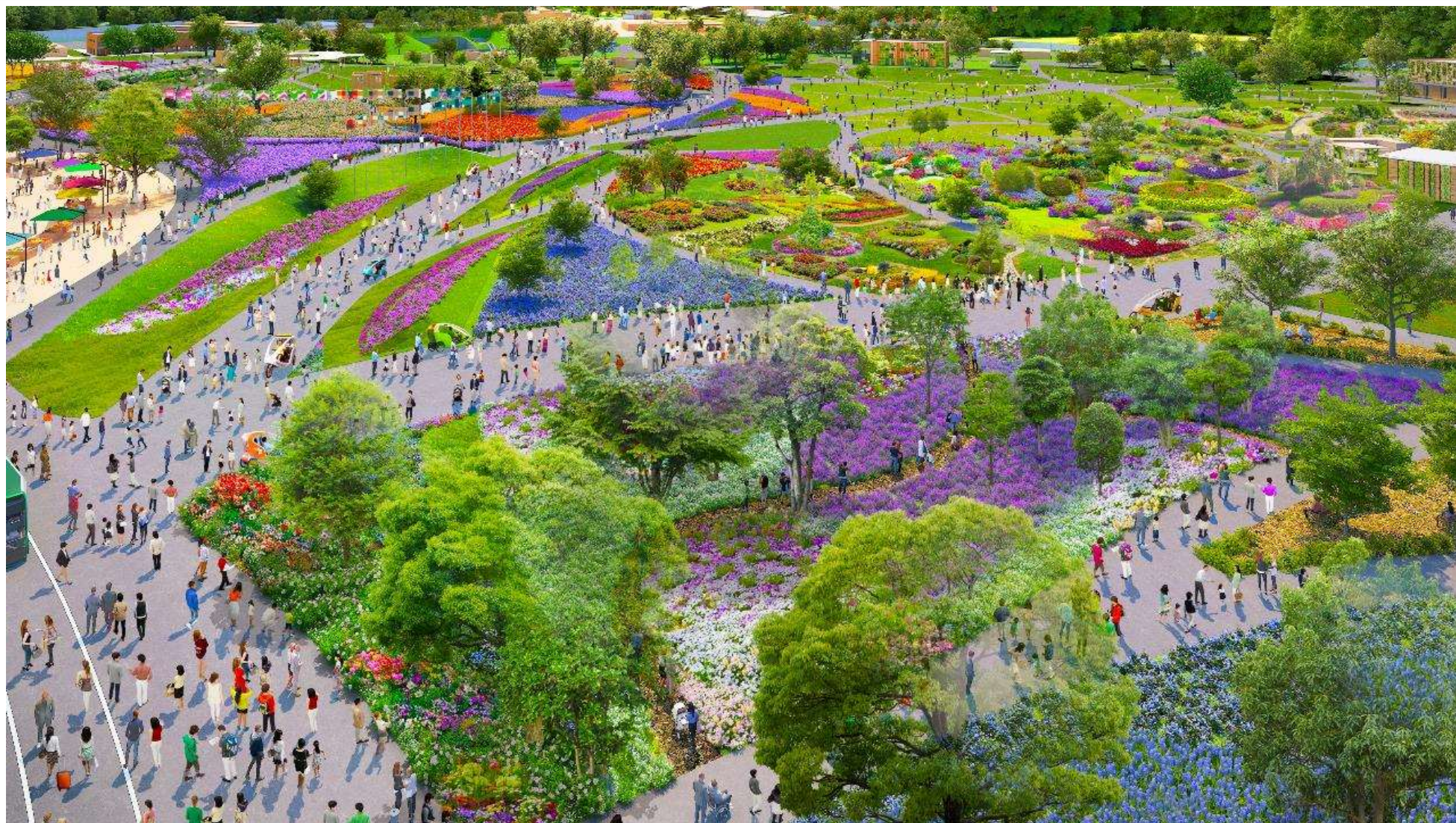
1 会場・出展等



会場（鳥瞰イメージ）



メインガーデンからの鳥瞰イメージ



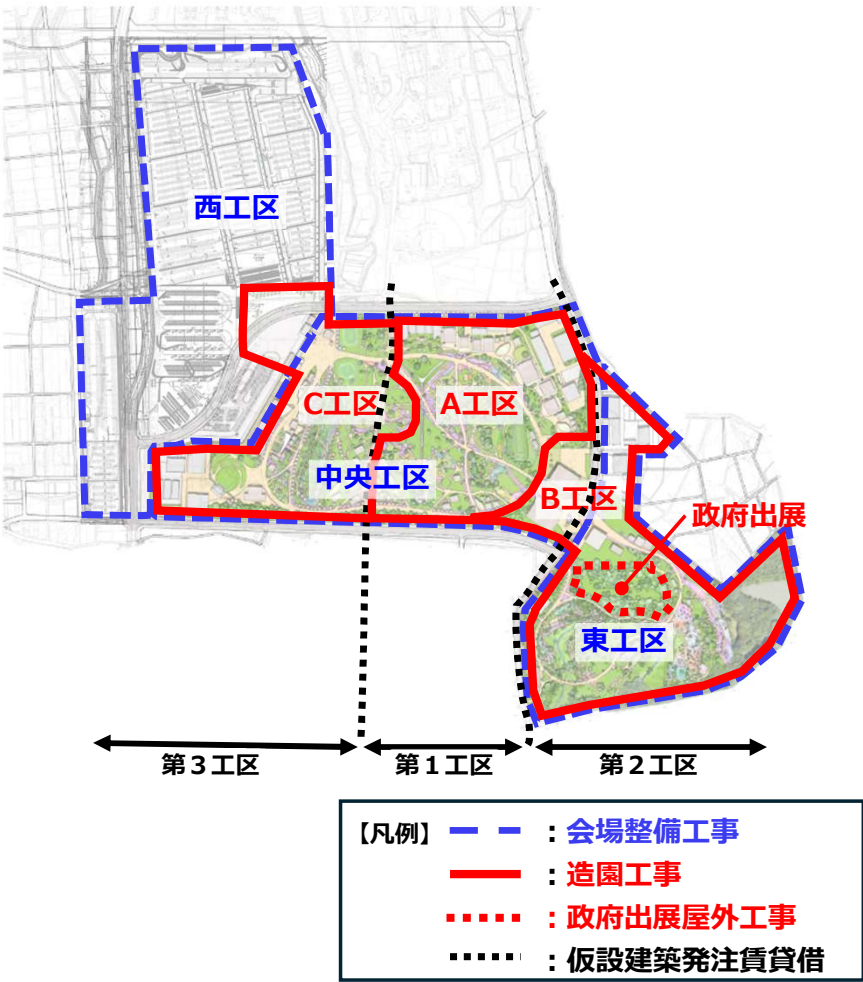
テーマ館からの鳥瞰イメージ



会場（計画図）



協会工事の全体スケジュール



工事概要【想定】			工期(年度)				
種別	工種		2023	2024	2025	2026	2027
会場整備工事(土木基盤)	中央、東	舗装、給排水施設 ・電気設備、植栽等					
	西	舗装、給排水施設 ・電気設備、植栽等					
造園工事		植栽・園路広場・コモンズ主催者修景等					
仮設建築賃貸借		開発・設計 ～建築～管理～撤去					
政府出展の工事		造園、建築、外構等					

- (1) 会場整備工事（土木基盤）
- ・中央工区、東工区（大林組）
2024年8月契約。現在、順次工事を進捗。
 - ・西工区（日本道路）
2025年3月契約。現在、現地着手に向けた準備中。6月から工事着手予定。
- (2) 造園工事
- ・A、B、C工区
 - ・政府出展の屋外工事
- (3) 仮設建築賃貸借
- ・第1工区
2025年3月契約（大和リース）
 - ・第2工区
2025年3月契約（大和リース・TSP太陽JV）
 - ・第3工区
2025年3月契約（TSP太陽）
 - ・屋内出展施設
2025年3月契約（永山裕子・TSP太陽JV）
- ・現在：8月契約に向けて、5月工事発注予定
・2025年10月頃：現場着手予定
- ・現在：順次設計中
・2025年10月頃：現場着手予定

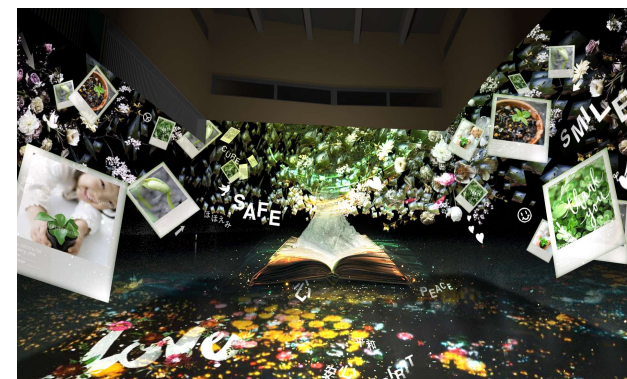
主催者展示（テーマ館）

○テーマ館 すべての生命はつながっている。植物を中心に。

- ・植物と菌類が土の中の世界で築くネットワークの広がり「奇跡の一本松」の根株を活用して視覚化



（イメージ）



（イメージ）

主催者展示（園芸文化展示）

○園芸文化展示 江戸時代に花開いた日本の園芸文化の奥深さを表現。

- ・伝統的な桔木構法の建築空間での映像展示を端緒に、江戸時代の園芸文化、花屋敷の再現、海外の評価を紹介



（イメージ）



（イメージ）



出典：雑花園文庫

政府出展

- GREEN×EXPO 2027では、国土交通省と農林水産省が連携し政府出展を実施。
- 「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトの下、気候変動への適応や生物多様性の確保等をめざすとともに、日本庭園の伝統技術により、美しい風景をつくりあげる「令和日本の庭」、グリーンインフラや新しい農業技術等に関する展示を予定。



展示施設（建築）と屋外展示（イメージ）



屋外展示（イメージ）
日本の里山の風景を背景に、
日本の雅を華やかに表現



屋内展示（イメージ）
社会と暮らしの将来像展示

※イメージは国土交通省・農林水産省提供

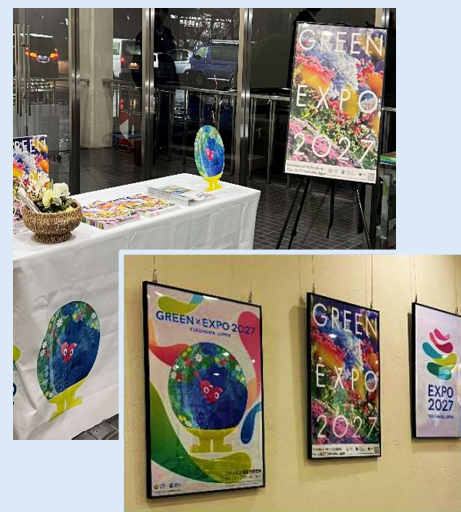
出展 公式参加者（外国政府・国際機関等）



- 2025年2月～4月にかけて、駐日外交団向けの説明会や現地視察会を開催
- 2025年5月に、公式参加者との初の契約をカタル国と調印
- 2025年6月上旬時点で30か国以上が参加の意思を表明



駐日外交団 現地視察会
(2025年3月・横浜)



農林水産大臣主催観桜会
(2025年4月・東京)



駐日外交団 植物検疫説明会
(2025年4月・東京)



カタル国公式参加契約調印式
(2025年5月・東京)

BIE・AIPH



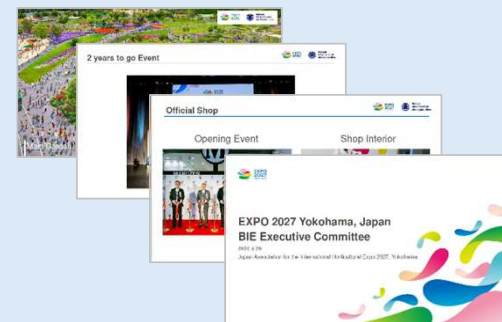
- 万博を所管する**BIE（博覧会国際事務局）**や、園芸博覧会を所管する**AIPH（国際園芸家協会）**と進捗状況を共有しながら当博覧会の準備を実施



BIE事務局との面会
(2025年3月・パリ)



BIE事務局との面会
(2025年4月・東京)



BIE執行委員会・情報広報委員会
(2025年4月・パリ)



AIPH博覧会委員会
(2025年2月・チェンライ)



AIPH開催2年前視察
(2025年6月・横浜)



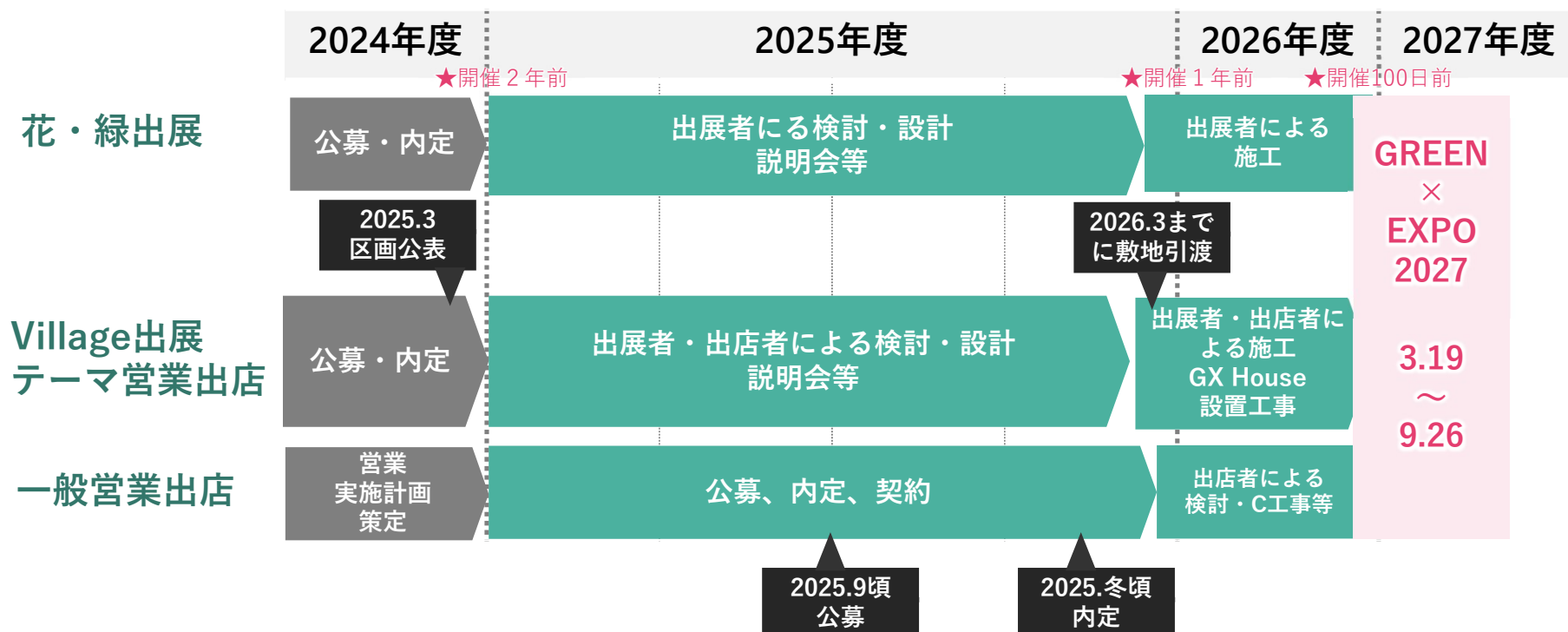
花・緑出展、Village出展、営業出店（テーマ・一般）



- 「GREEN×EXPO 2027 開催 2 年前記者発表会」にて出展・出店内定者を公表しました。
一般営業出店についても、順次公募・内定の手続きを進めていきます。

2025年3月19日時点での内定状況は以下のとおりです。 ※出展・出店者の詳細は次頁以降参照

- 1 花・緑出展 : 企業・団体・個人出展は計287件、自治体出展は計73件
- 2 Village出展 : 計 13件
- 3 営業出店 : テーマ営業は計4件、一般営業は2025年9月頃公募実施、冬頃事業者を内定予定

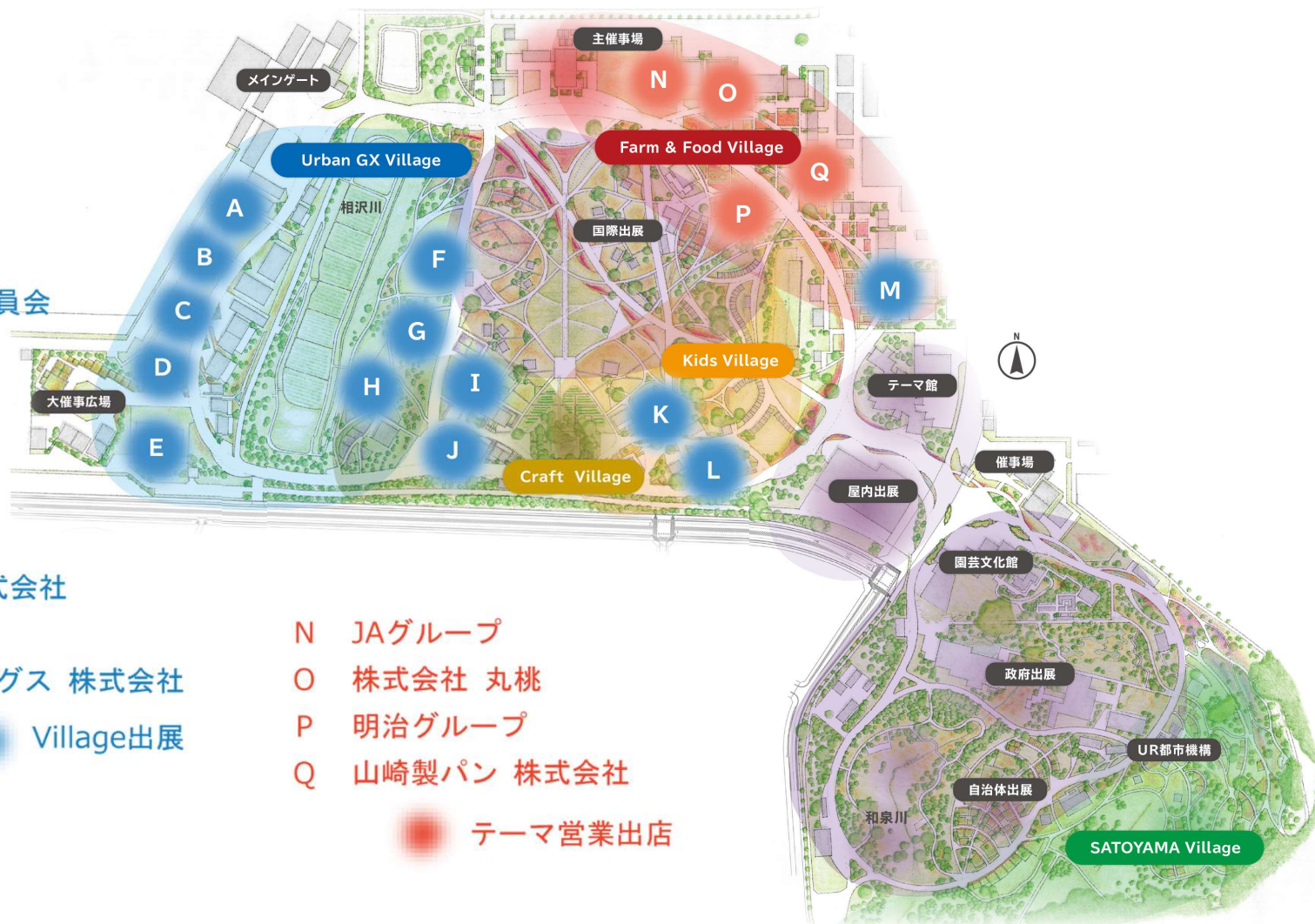


Village出展・テーマ営業出店区画

- A 東急グループ
 - B 株式会社 KTグループ
 - C 東日本電信電話 株式会社
 - D 株式会社 大林組
 - E 三菱国際園芸博覧会総合委員会
 - F 鹿島建設 株式会社
 - G 大和ハウス工業 株式会社
 - H 東邦レオ 株式会社
 - I 竹中グループ
 - J 住友林業 株式会社
 - K 相鉄ホールディングス 株式会社
 - L 清水建設 株式会社
 - M 三光ソフランホールディングス 株式会社
- Village出展

- N JAグループ
- O 株式会社 丸桃
- P 明治グループ
- Q 山崎製パン 株式会社

● テーマ営業出店



行催事・儀典



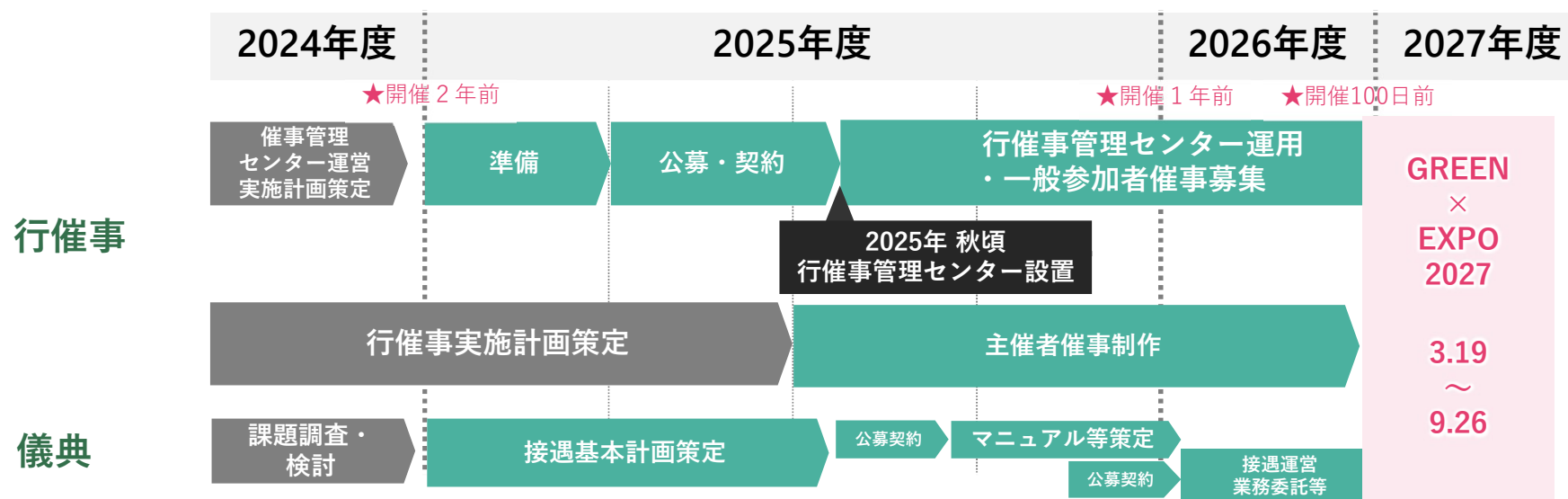
開会式・閉会式の公式行事をはじめ、国際理解と友好親善促進を目的に、ナショナルデー（ND）やスペシャルデー（SD）、開催国として開催するジャパンデー（JD）等の行事を行います。また、博覧会の賑わいを演出するため、会場内での各種催事を実施する参加者を一般からも募集します。

○行催事の準備状況

2025年秋頃までに「行催事管理センター」を設置し、一般参加催事の募集等を開始する予定です。また、「行催事実施計画」を策定し、主催者催事制作に向けた準備を進めていきます。

○儀典の検討状況

2025年度中に儀典PJにて「接遇基本計画」を策定した上で、海外からの賓客等も含め多様な来場者に対応できるよう準備を進めていきます。



○各計画の検討・策定

- ・警備、消防・防災、医療救護、会場衛生各基本計画（2025年夏頃）
- ・来場者サービス基本計画（同上）
- ・清掃・廃棄物管理基本計画（同上）
- ・保税展示場の許可申請（2025年秋頃）
- ・関係者入場証ガイドライン（2026年春頃）
- ・物流実施計画（2026年春頃）

○サイバーセキュリティ対策

- ・必要な業務内容の検討を行い、4月にサイバーセキュリティ対策協議会を実施

○携帯通信環境整備

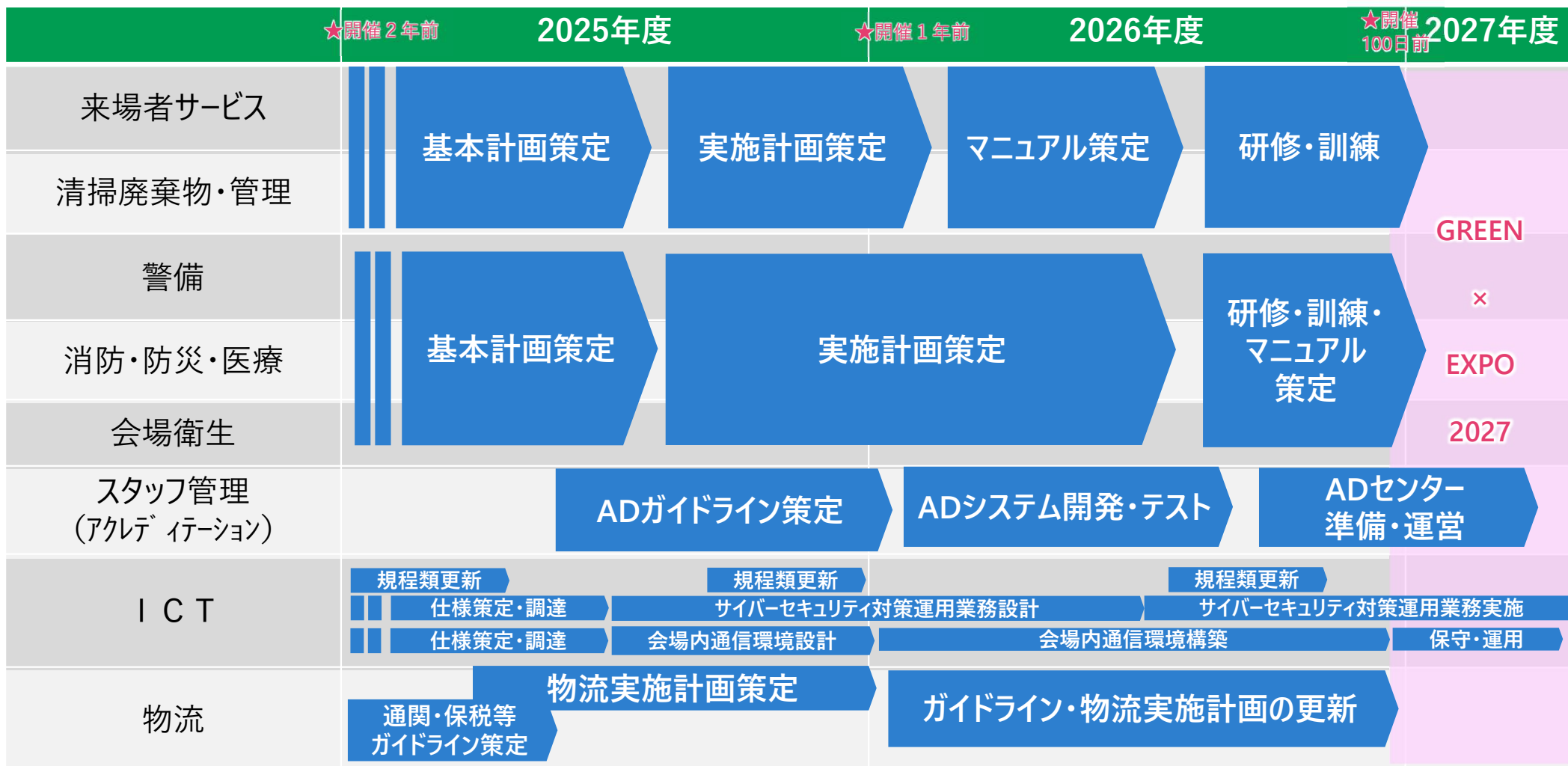
入場ゲート周辺等の混雑を想定し、携帯通信環境を整備します。

- ・携帯通信環境については、シェアリング事業者である(株)JTOWER及び携帯電話事業者各社に十分な携帯基地局整備を要請します。
- ・Wi-Fi通信環境については、通信インフラ整備業務において混雑が想定される箇所への重点的なWi-Fiアンテナ設置を行います
- ・その他必要な対策を検討します。

運営（スケジュール）



○ 会期中の会場運営に向けた検討は、以下のスケジュールで実施します。



協賛



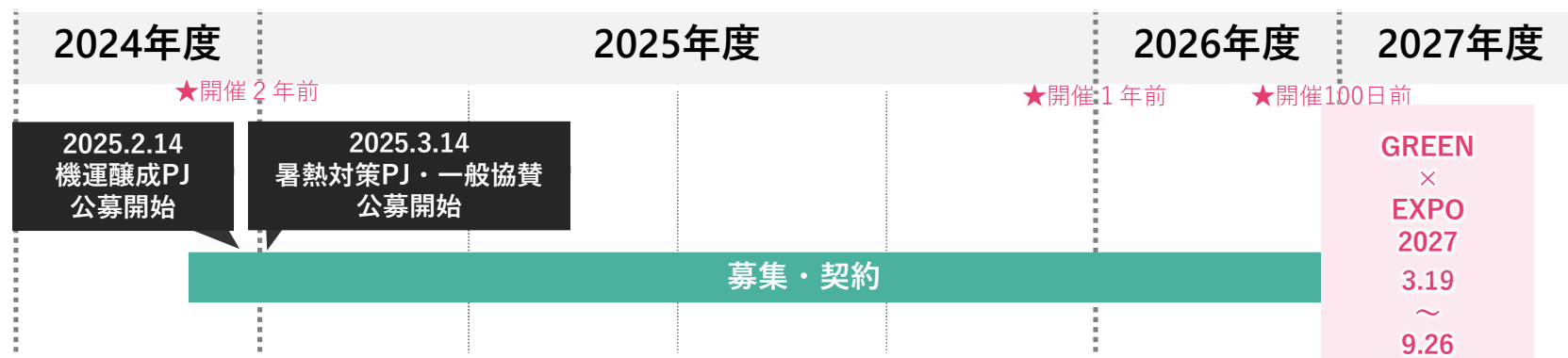
○協賛について

GREEN×EXPO 2027における協賛は、「プロジェクト協賛」と「一般協賛」の2種類を設定しています。
2025年2月14日から「機運醸成プロジェクト」、同年3月14日から「暑熱対策プロジェクト」の公募を新たに開始しました。

また、同年3月14日には「一般協賛」の公募も開始し、募集リストを毎月更新していきます。

協賛の種類	
プロジェクト協賛 対話をしながらコンテンツを共創	一般協賛 博覧会に必要な物品・役務を提供
テーマ館プロジェクト 機運醸成プロジェクト	「一般協賛募集リスト」を公開し、 「機械・機器」「植物・園芸」など 幅広いカテゴリーで募集中
会場整備プロジェクト 暑熱対策プロジェクト	— 定期的に更新
— 今後順次追加	

協賛



植物調達

○植物調達パートナー

協会が行う植物材料調達において、植物提案・調達・育成・納品等について、一定の基準を満たすと協会が認定した事業者です。現在3者を認定し、毎年度に追加公募を行う予定です。

【植物調達パートナーによる調達状況】

- ・令和5年度は、樹木等156品目の育成を契約しました。
- ・令和6年度は、樹木等103品目、宿根草等740品目の育成を新たに契約しました。
- ・令和7年度は、球根類や一年草等を中心に更に多くの種類を調達する予定です。

【植物調達パートナーが育成中の希少な植物の例】



カスミザクラ
霞桜

- ・長野県にて育成中
- ・日本に自生する基本野生種11種のひとつ。開花期の様子を山野に立ち込める春の霞に見立てて霞桜と名付けられた。開花と新葉の展開が同時に進む



ハコネサンショウバラ
箱根山椒薔薇

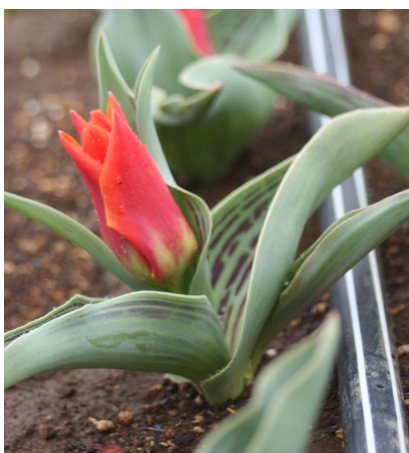
- ・神奈川県にて育成中
- ・富士箱根地域に自生するバラの野生種。成長時には高さ5～6mに達し、木の高さと同様の大きさから「世界最大のバラ」と言われる。

植物調達

○植栽試験

- ・ 最新品種の情報収集、生育適性の調査・審査等を目的として植栽試験を日本大学と連携して実施しています。
- ・ 2025年は3月、5月、7月、9月に審査を行います。
- ・ 2025年の植栽試験では全国各地の企業・個人育種家・自治体等から試験対象植物等の出品があり、植物以外に、資材として再生リン入り肥料や灌水コスト削減のための保水剤なども出品されています。

【3月審査(3.19)に出品された品種の例】



チューリップ
ショーウィナー

- ・ 開花時期が開幕日にピッタリ
- ・ 葉にユニークな斑が入る



ストック
カルテット
ホワイト

- ・ 側花が多い
スプレー咲
- ・ ポリ鉢を使わずにココピートで育苗

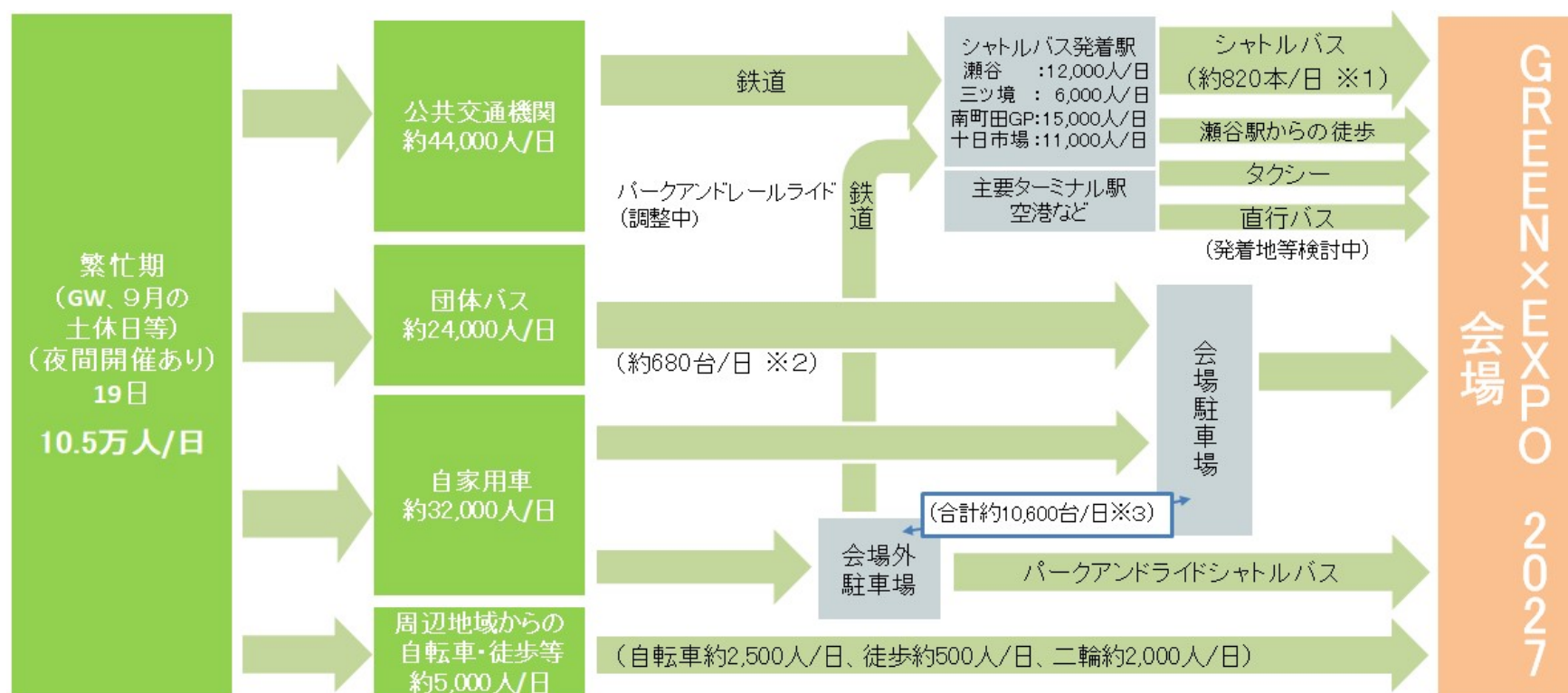
【日本大学との連携】



5月審査に
むけた植栽
を行う日本
大学の学生

輸送対策

○公共交通機関は4 駅シャトルバス、タクシー、直行バスを検討（瀬谷駅からの徒歩を含む）



交通機関別分担 繁忙期（GW、9月の土休日等）（夜間開催あり）

※1：シャトルバスは1本あたり50人乗車（立乗りあり）で想定

※2：団体バスは1台あたり35人乗車（着席のみ）で想定

※3：自家用車は1台あたり3人乗車で想定

輸送対策

○4 駅シャトルバス運行計画

<各駅における1日あたり来場者数（想定）> ※開場直後の午前9時台を想定

駅 名	日来場者数	時間最大来場者数※
瀬谷駅	約 5,000～12,000人/日	約 1,600～ 3,100人/h
三ツ境駅	約 2,000～ 6,000人/日	約 600～ 1,500人/h
南町田グランベリーパーク駅	約 6,000～15,000人/日	約 1,900～ 3,900人/h
十日市場駅	約 4,000～11,000人/日	約 1,300～ 2,800人/h
合 計	約17,000～44,000人/日	約 5,400～11,300人/h

「通常期（173日）の最小値」～「繁忙期（19日）の最大値」で記載

→鉄道の輸送能力や各駅等の施設容量、一般利用者への配慮等から検討する

- ・路線バスタイプを主な車両とする
- ・貸切による運行とする

○自家用車

会場駐車場（北側、西側）を整備

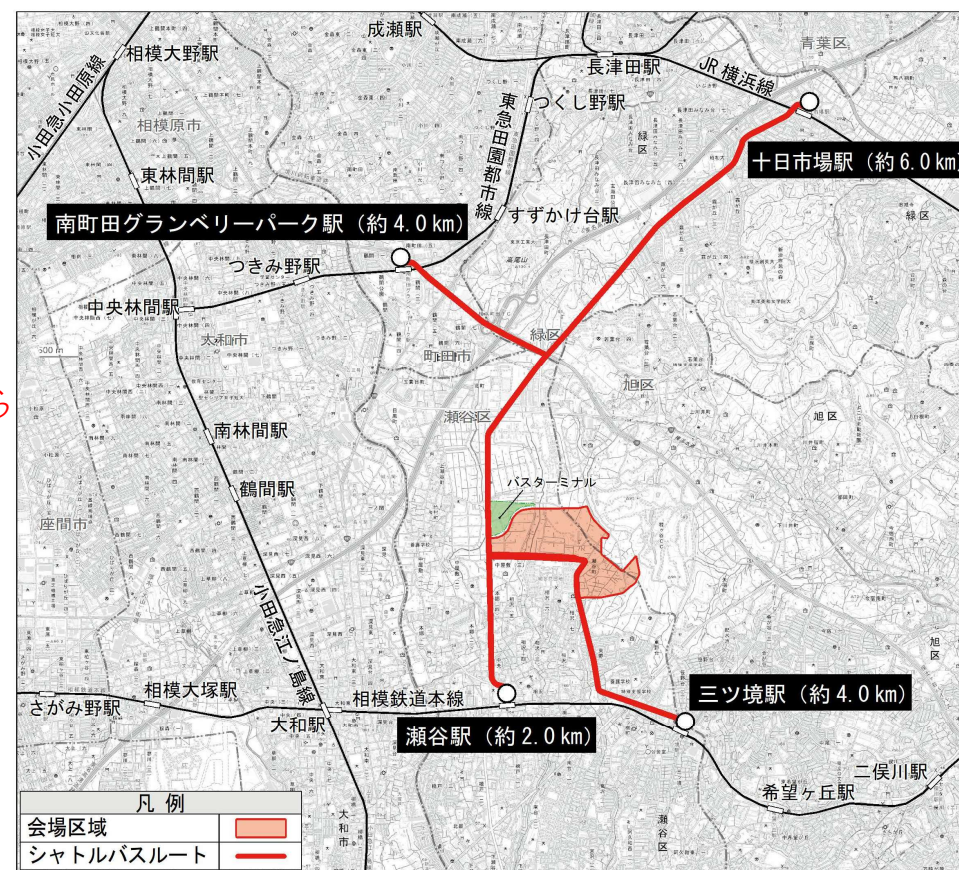
○輸送供給拡大対策

周辺道路の交通容量拡大等

○輸送円滑化対策

需要平準化対策、情報発信による混雑緩和

会場近傍4駅からのシャトルバスルート（想定）



出典：国土地理院地図を引用・加工

アクセシビリティ・ガイドライン



・2025年3月26日に、自然・人・社会が共に持続可能な未来の実現と、誰もが取り残されない共生社会の形成に寄与し、一人ひとりの幸せな明日の風景につながることを目指し、「[2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドライン](#)」を策定しました。

・国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無等にかかわらず、GREEN×EXPO 2027を訪れる全ての人々が安全・快適に過ごすことができるよう配慮した整備・運営を行う観点から、「2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドライン検討会」を設置し、[障がい当事者や学識経験者等の皆様に参画](#)いただき様々な意見を反映しました。

○本ガイドラインについて

・[園路・庭園・建築物等に関する整備基準](#)

・[場内の表示・サイン、スタッフ対応などサービスに関する基準及び具体的な対応策の例](#)

・[誰もが移動しやすい交通アクセスに関する基準](#)などを定めています。

今後、本博覧会の開催者・参加者は、本ガイドラインに沿った整備・運営を行っていきます。

○2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドライン（目次）

- 1 はじめに
- 2 ガイドラインの活用にあたって
- 3 施設整備
- 4 サービス
- 5 交通アクセス

巻末 参考文献・参考資料等



2027年国際園芸博覧会
アクセシビリティ・ガイドライン

サステナビリティ

■サステナビリティ戦略および実施計画等を踏まえ、「サステナビリティ教育計画」、「サステナビリティ コミュニケーション・エンゲージメント（C&E）計画」を2025年3月17日に策定、AIPHに提出。

- **教育計画**：調達コードの策定・運用や、主催者展示を通じた情報発信、学生との連携、職員への研修など、全てのステークホルダーに対して、サステナビリティに関する意識向上や学習を促進。
- **C&E計画**：公式ウェブサイトやSNS、全国都市緑化フェア等のイベント、市民参加活動などを通し、本博覧会のテーマやサステナビリティに関するメッセージを幅広く発信。アクセシビリティ・ガイドラインの策定における幅広い関係者との意見交換が評価され、第70回日本身体障害者福祉大会 かながわ大会で取組について講演を実施。

教育計画の事例



参考：博覧会協会
県立農業高校との共創プロジェクト「GREEN LEADERSHIP CLUB」

■Green Expoならではの取組みとして「資源循環の考え方」を策定、公表。

- **資源循環の考え方**：様々なステークホルダーと連携し、「GREEN サーキュラー建築」の推進や、再生可能な植物資源の活用など素材使用方針の設定、3Rと分別の徹底等、未来社会を見据えた取組を推進。

■策定過程では「持続可能性有識者委員会」で審議、第三者意見を包含。今後は提示した活動の着実な実施促進に注力。

2 広報・機運醸成



Blooming Ring Action（記者発表会）



○2025年5月16日、誰もが身近に楽しめるGREEN×EXPOを目指し、参加型の新アクションプログラム「Blooming RING Action」を発表。

- 1 日時：2025年5月16日(金) 10:00～10:30
- 2 場所：TODAホール&カンファレンス東京 ホールA
- 3 内容：

○Blooming RING Action発表

・博覧会協会 太田 喜久 機運醸成部長

○トークセッション、フォトセッション

・公式アンバサダー 芦田愛菜さん



<Blooming RING Actionとは>

ブルーミングリングは、GREEN×EXPO 2027をきっかけに「つながる」シンボルです。

ブルーミングリングを装着して、同じポーズの皆様が見える化＝可視化することで、GREEN×EXPO 2027を応援する輪を広げていきます。



×

We are Blooming

(合言葉)

We are Blooming

×



ブルーミングポーズ

(ブルーミングリングを装着した応援ポーズ)

Blooming Ring Action (展開)



○市内のイベントから配布開始

- ・ 5/18 Yokohama Nature Week (旭区 子ども自然公園)
- ・ 5/23～24 GREENROOM FESTIVAL (赤レンガ倉庫)
- ・ 5/24～25 ハマフェスY166 (山下公園)
- ・ 5/31～6/1 横浜開港祭 (臨港パーク)
- ・ 6/4 CAKE SHOW Kanagawa 2025 (横浜市役所アトリウム)
- ・ 6/14 Blooming Ring Action (横浜赤レンガ倉庫)
- ・ 6/21 // (日産スタジアム)
- ・ 6/22 // (ランドマークプラザ1F)

○GREEN×EXPOに参画いただく出展予定企業や関係団体などにも、順次展開予定



特設サイトを開設し、随時写真を公開。
イベントも告知。



横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル2025 (5/3～5)



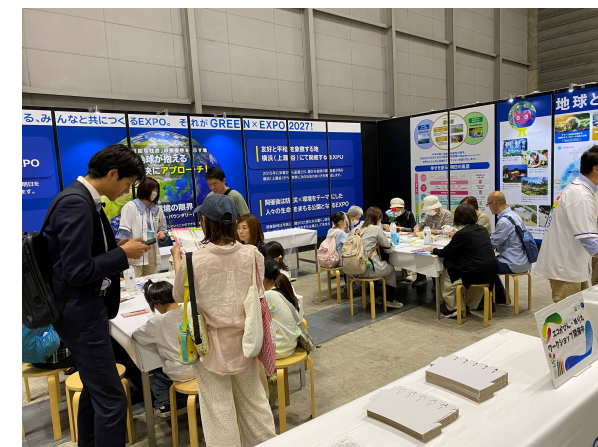
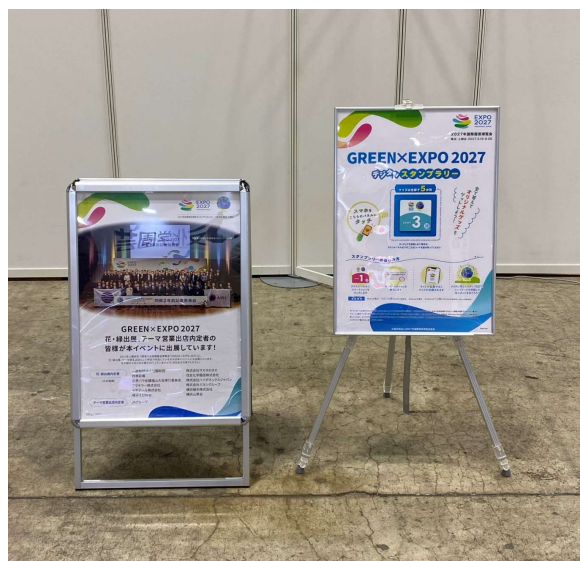
○GREEN×EXPO 2027 P R ブースを展開

- ・新たなマスコットモニュメントと生花をふんだんに使用したフォトスポット
- ・公式ライセンス商品の販売
- ・エコ花瓶づくりやマスコットの塗り絵など子ども向けワークショップを実施

○会場全体における演出

- ・デジタルスタンプラリーの実施
- ・花・緑出展及びテーマ営業出店内定者のブースにおけるPR協力
- ・メインステージにおけるPR動画の放映 など

※来場者数：37,061人（3日間）



イベント出展



○ 第47回よこはま花と緑のスプリングフェア2025（横浜公園）

・期間：4/5～6 パンフ・チラシ配布

○ FLOWER EXHIBITION in TOKYO TOWER（東京都港区）

・期間：4/19～29 パンフ・チラシ配架

○ 東京インフォラータ（東京都千代田区）

・期間：4/19 パンフ・チラシ配架

○ 緑化ぎふフェア（岐阜県）

・期間：4/23～6/15 モニュメント設置、チラシ配架

○ 第6回花友フェスタ（千葉県幕張）

・期間：4/29 パンフ配布、EXPO通信配布



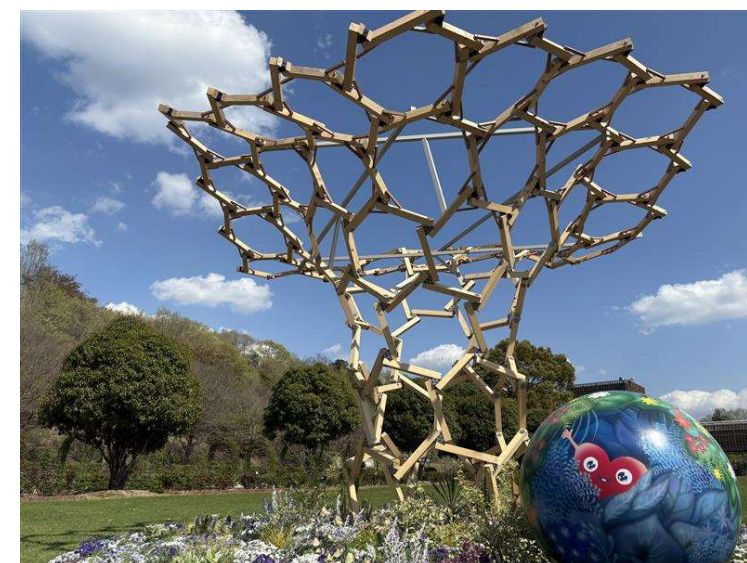
花友フェスタ



スプリングフェア



東京インフォラータ



緑化ぎふフェア

情報発信（GREEN×EXPO 2027通信）

○発行状況について

- ・ 2027年国際園芸博覧会協会の広報誌
「GREEN×EXPO 2027通信」vol.4を2025年4月に発行。発行部数は、15,000部。
GREEN×EXPO 2027の各ステークホルダーに配布中。
BtoB向け。
- ・ 3月19日に実施した開催2年前記者発表会のレポート、最新の会場計画やイメージ画像など最新情報を掲載
- ・ 次号（vol.5）は、2025年夏発行予定。
部数も増刷予定。



機運醸成プロジェクト（交通広告）

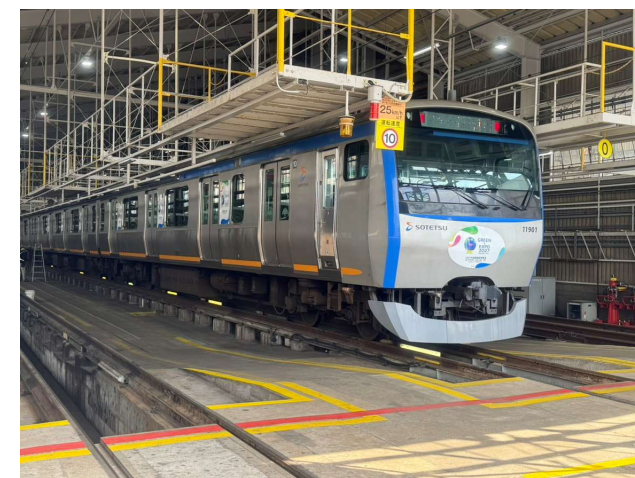
- 2025年2月14日より、市内から首都圏まで大きなPR効果が見込まれる「交通広告」に着目した、「機運醸成プロジェクト（交通広告）」への協賛募集を開始。
- 機運醸成プロジェクト（交通広告）の第1号として、相鉄ホールディングス株式会社と協賛契約を締結。
 - GREEN×EXPO 2027の玄関口となる、瀬谷駅・三ツ境駅の駅名標を特別仕様のデザインで掲出
 - 公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」などをデザインしたラッピングバス及び列車を順次運行
 - 相模鉄道の車両に設置されている車内ビジョンでGREEN×EXPO 2027のPR動画の放映



瀬谷駅 駅名標



ラッピングバス



ラッピング列車

組織名CI活用



○GREEN×EXPO 2027は、

圧倒的な花と緑と共に、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求する国際博覧会であることをより明確に発信するため、コーポレートアイデンティティ（CI）の強化・確立に向けた取組として、協会名称の表記として「GREEN×EXPO」を活用。

－表記

GREEN×EXPO 協会

（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会）

－用途

・名刺、メール署名、講演会チラシ、ポスター、パンフレットなど

対外表記・呼称として使用



機運醸成の取組（横浜市）



○都市型大規模音楽フェス「CENTRAL」との連携（4月）

「リソースハブ」というゴミ回収ステーションにおいて、GREEN×EXPOのロゴ等デザインで装飾したほか、ゴミの分別にご協力いただいた方にロスフラワーを提供するとともにGREEN×EXPOのPRを実施しました。



GREEN×EXPOのロゴ等デザインで装飾したリソースハブ



ロスフラワーをお渡しの様子

機運醸成の取組（横浜市）



○「ザよこはまパレード」への参加（5月）

「ザよこはまパレード」に参加し、横浜瀬谷高校の生徒とともに、今回初の試みとなるGREEN×EXPO仕様のフロートにより、多くの来場者にPRしました。



GREEN×EXPO仕様のフロートでPRする
横浜瀬谷高校の生徒の皆様



統一ユニフォームで行進

機運醸成の取組（横浜市）



○「ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会」でのPR（5月）

コース沿道にGREEN×EXPOの横断幕やカラーコーンを大規模に掲出し、観戦客等に向けてPRを実施しました。



横断幕



横断幕



カラーコーン

機運醸成の取組（神奈川県）



（１）GREEN×EXPO 2027応援団によるP R

本県にゆかりのある著名人や団体を中心に
「**GREEN×EXPO 2027応援団**」を結成し、
様々な場面でP Rを実施（24名、9団体）



【直近のP R活動】



かながわ緑の大使
(神奈川県庁庁舎公開)



白井 貴子さん(応援団長)
(横浜フラワー・ガーデンフェスティバル2025)



熊本 マリさん
(かながわパフオマ開放区)

機運醸成の取組（神奈川県）



（２）大阪・関西万博でのP R（5/28～6/1）

内閣府主催「地方創生S D G s
フェス」に出展し「いのち輝く
『Vibrant INOCHI』」の理念と
「GREEN×EXPO 2027」をP R



（３）市町村と連携したP R、ラジオによるP R

○ 綾瀬市ローズフェスタ2025(R7.5.24)



○ 開成町あじさいまつり（R7.6.7～8）



○ FMヨコハマ「LIGHT UP KANAGAWA」にて、応援団の「柳井 麻希さん」とPR



機運醸成の取組（国土交通省・農林水産省）



○全国連携プログラム

- ・花・緑・農等に関連する事業等について、事務局が募集、審査を行い、基準に合致する事業を「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」として登録。

○実施内容

登録を受けた全国連携プログラムについては、以下の特典を付与。

- ・共創メッセージ付きロゴ（右）の使用を可能とする。
- ・国交省、農水省ホームページへの掲載、協会ホームページや公式SNS等の協会の機運醸成活動において、全国連携プログラムのPR等の機会を得られる。

登録の対象は、以下の全て該当する取組。

- ・体験プログラム、ツーリズム、シンポジウム、講演会、イベント、コンテスト、その他園芸博のテーマに合致するもの。
- ・花・緑・食・農等に関連する政策の推進につながるもの（推進意図があるもの）。
- ・一般国民に参加の機会が提供されており、非営利のもの（有料・無料、参加人数制限等は問わない）。
- ・登録時から園芸博開催期間の間に実施されるもの。

○第1回募集の実施概要

- ・募集期間：令和7年1月29日（水）～2月26日（水）
- ・登録者発表：令和7年3月19日（水）
- ・登録件数：88件

○今後の予定

- ・令和6年度以降、概ね半年ごとに計5回にわたり公募予定。第2回募集については、令和7年6月上旬から開始予定。

共創メッセージ付きロゴ



機運醸成の取組（国土交通省）



○国営公園での取組

- 全国の国営公園において、ゲートやビジターセンター等でのGREEN×EXPO 2027ポスター掲示・PR動画の上映、各国営公園の春季イベント広報物へのロゴマークの活用、SNSリポスト等を実施
- 国営公園において、GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラムを推進中

○「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」登録活動の事例

・国営昭和記念公園

- GREEN×EXPO 2027連携イベント『「GREEN×EXPO 2027」ってなんだろう？』
Vol.1 農のあるまちの未来に種をまこうを実施

日時：3月23日（日）10:00-15:00

会場：国営昭和記念公園 花みどり文化センター

主催：国土交通省、国営昭和記念公園

運営協力：株式会社農天気、公益財団法人都市緑化機構



イベントの様子

・国営明石海峡公園

- 令和7年3月～4月に開催された淡路花みどりフェア2025（※）の期間中、メイン会場の一つである明石海峡公園において、GREEN×EXPO 2027をPRする看板・ポスターを設置

※2000年の国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」以降に開催されている淡路島を舞台とした花と緑の祭典（2010年、2015年、2020年開催）。今回は「自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島」をテーマに開催。

連携イベントポスター



（昭和記念公園）



（明石海峡公園） 40

機運醸成の取組（国土交通省）



○GREEN×EXPO 2027特別仕様ナンバープレート

- 全国的な機運の醸成、意識の高揚を図る観点から、GREEN×EXPO 2027特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレートを期間限定で、全国の希望者に交付する
 - 交付に併せて寄付金を募集し、その収入をGREEN×EXPO 2027の開催に関連した交通サービスの充実等に充てる
- ・ 共同発表会（令和7年5月3日）@横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル2025
 - 国土交通省及び博覧会協会が共同でデザイン及び交付開始日等を発表
 - ◆ 申込受付：令和7年6月9日（月）～
 - ◆ 交付期間：令和7年7月14日（月）～令和9年11月30日（火）
 - ◆ デザイン

	登録自動車（自家用）	登録自動車（事業用）	軽自動車（自家用）
フルカラー版 （寄付金あり）			
モノトーン版 （寄付金なし）			

・ SNSでの発信

- 特別仕様ナンバープレート以外のトピックも積極的に発信



機運醸成の取組（農林水産省）



○令和6年度2027年国際園芸博覧会推進委託事業（機運醸成活動に係る業務）報告

- ・雑誌「フローリスト」4月号に記事を掲載。

○政府出展 参画プログラム（高校生によるガーデン制作プログラム）

- ・政府出展エリア内に「花とみどりで創る景色」をテーマとしたガーデンを高校生が制作
- ・令和7年2月27日から周知を開始（公募期間令和7年4月7日～6月20日）
- ・農業高校等を中心に参画プログラム及び園芸博の開催を周知

○WEB媒体、マスメディア等

日時	掲載場所・機関	内容
2月27日	プレスリリース	PRTIMESへの掲載により10媒体へ転載
3/19～3/21	GreenSnap	アプリ内広告、インスタ広告
3/18～3/21	みんなの趣味の園芸	HPバナー広告
5月7日	日本農業新聞	3面掲載

その他、農水省、園芸博覧会協会、全国花みどり協会SNS等での周知を実施

○農業高校関係

日時	掲載場所・機関	内容
3月5日	全国高等学校長協会 全国学校農場協会	全国の会員農業高校へメール配信
3月5日	文科省	都道府県の教育委員会から農業高校等へメール配信
4月7日	日本学校農業クラブ連盟	雑誌リーダーシップに広告出稿(会員約9万人に配布)
4月27日	(一社)花いけジャパン	花いけバトル参加校242校へメール配信

その他、農政局、全国花みどり協会等を通じて個別高校への周知を実施



3 組織・スケジュール



協会組織



- GREEN×EXPO協会
(公益社団法人2027国際園芸博覧会協会)
組織・人員

<法人格> 公益社団法人 2022.12～

<組織> 14室・部 22課

<職員数> 238名 (2025.6.9)

※うち18名が2024年9月2日に開設された
上瀬谷現地事務所で勤務

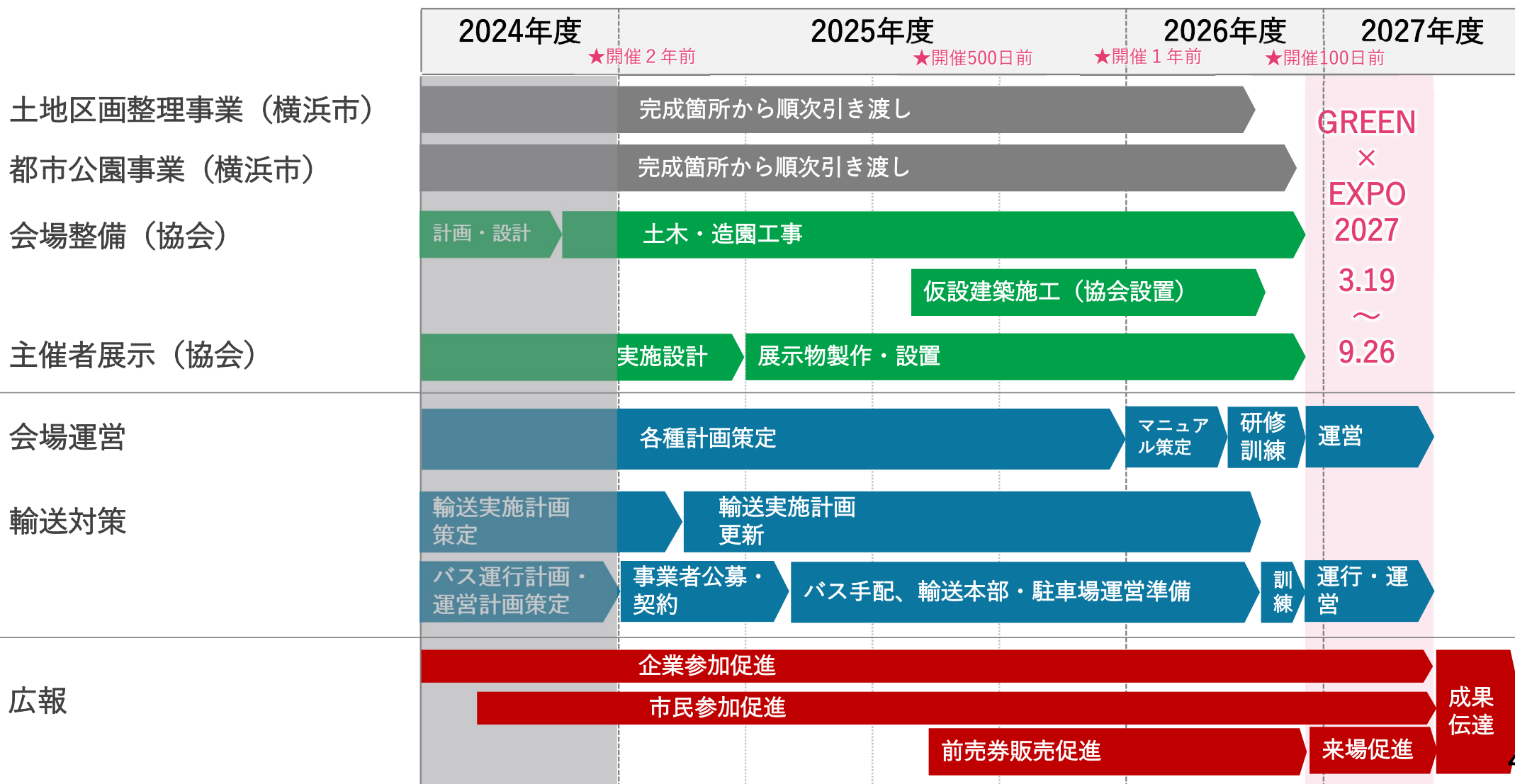
2025年度の財務委員会活動状況としては、以下のとおりです。

第4回開催にて以下に係る変更案について決議しました。

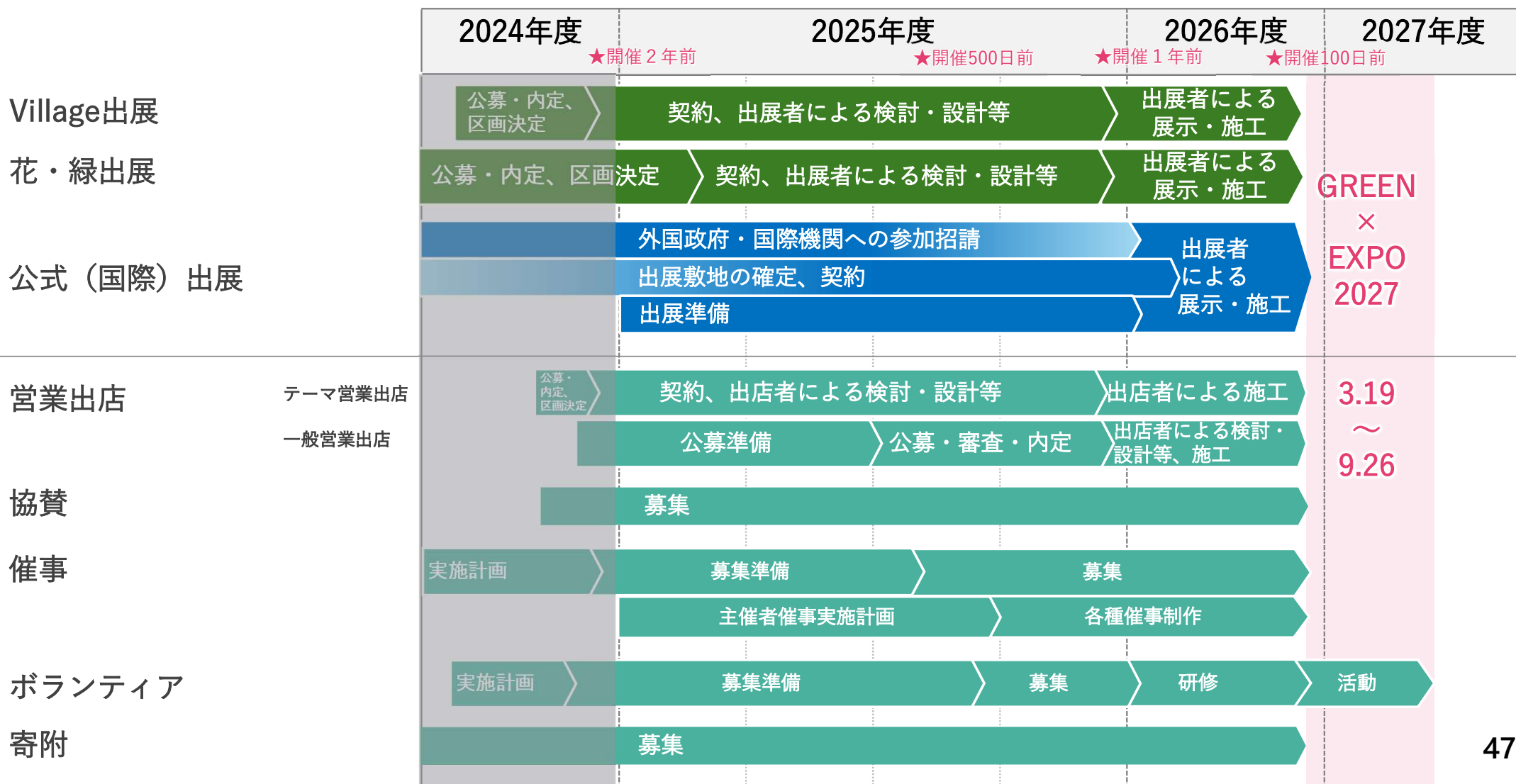
- 2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針
- 2027年国際園芸博覧会寄附金募集計画

項目	第4回開催
開催期間	2025年5月12日（月）送付 2025年5月23日（金）提出✓
開催方法	書面開催
委員所属団体等	財務委員長、全国経済団体、地元経済団体、各地域経済団体、業界団体
議題	○提案事項 ・2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針について ・2027年国際園芸博覧会寄附金募集計画について

全体スケジュール



全体スケジュール



報告事項 第2号報告

2025年度の理事会総会等の予定

2025年度の理事会総会等の予定について、資料4のとおり報告します。

- ・ 資料4 2025年度 理事会総会等予定一覧

2025年度 理事会総会等予定一覧

資料 4

時期	名称	主な議題	備考
6 月	第27回理事会	【提案事項】 ・ 2024年度事業報告 ・ 2024年度決算 ・ 財務委員会の委員の選任 ・ 第12回社員総会の開催 【報告事項】 ・ 2024年度内部監査結果 ・ 特定寄付金及び指定寄附金に関する指定期間の延長について ・ 理事の利益相反取引の報告	書面開催 (6月1日議決)
	第12回社員総会	【議決事項】 ・ 2024年度決算 ・ 理事の選任及び再任 ・ 監事の再任 ・ 定款等の変更 ・ 会計監査人の選任 【報告事項】 ・ 2024年度事業報告 ・ 2025年度事業計画及び予算	実開催 (6月16日開催)
	第28回理事会	【議決事項】 ・ 会長、副会長及び事務次長の選定 ・ 会計監査人の報酬の額 ・ 2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針の変更 【報告事項】 ・ GREEN×EXPO 2027の進捗状況 ・ 2025年度の理事会総会等の予定	実開催 (6月16日開催)
9 月 ～10月	●現地視察		理事・監事の皆様を対象とした現地（旧上瀬谷通信施設跡地）への視察を行う予定です。
11月 ～12月頃	第29回理事会	【議決事項】 ・ 未定 【報告事項】 ・ 本年度上半期職務執行状況報告 等	実開催
3 月頃	第30回理事会	【議決事項】 ・ 次年度事業計画 ・ 次年度予算 ・ 理事の報酬の具体額 等 【報告事項】 ・ 進捗報告 等	実開催

※上記の他、臨時（書面開催を想定）の理事会・社員総会を開催することがございます。